

# NEWS RELEASE

平成24年8月吉日

報道関係者各位

株式会社 第三銀行

## 地域密着型金融の推進に向けた取組みについて

株式会社第三銀行（本店 三重県松阪市、頭取 岩間 弘）は、平成22年6月に公表いたしました「地域密着型金融の推進に向けた取組み」の平成24年3月末（最終年度）における取組成果のほか、平成24年4月以降に取組む施策および数値目標をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 全体的な進捗状況及びそれに対する評価

当行では、創立100周年となる平成24年度を新たな飛躍のステージと位置づけたうえで、ビジョンである「地域に根ざしお客様とともに成長する銀行」の実現に向け役職員一同総力を結集し、取り組んでおります。

「地域密着型金融の推進に向けた取組み」は、「リレーションシップバンキングの機能強化計画」（平成15年度～16年度）、「地域密着型金融推進計画」（平成17年度～18年度）、「地域密着型金融の推進に向けた取組み」（平成19年度～21年度）の3つの計画に基づく取組成果を踏まえ、平成22年度から地域金融機関の社会的使命として、中期経営計画の計画期間に合わせ、中期経営計画に盛り込まれた施策を中心に平成24年3月までの地域密着型金融推進のための具体策を定めるとともに、数値目標を設定のうえ平成22年6月に公表いたしました。

平成24年3月までの2年間の成果につきましては、施策面・計数面とも概ね順調に実績をあげており、地域金融を担う銀行としての役割を果たすことができたと考えております。

今後についても、新世紀第一次中期経営計画「100年からのTAKE OFF～地域とともに～飛躍のステージ ver.1」（平成24年4月～平成27年3月）に盛り込んだ地域密着型金融の推進に向けた諸施策の着実な実現を図り、地域経済の活性化に貢献してまいります。

本取組推進策における数値目標に対する成果につきましては、「2. 数値目標に対する実績」、個別項目ごとの具体的な取組成果については、別紙「地域密着型金融の推進に向けた取組み状況について」（平成22年4月～平成24年3月）のとおりです。

#### 2. 数値目標に対する実績

項目	指標	目標 (24年3月)	実績 (24年3月)
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	経営改善支援等取組件数	124件	139件
事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の活用	担保・保証に過度に依存しない融資促進件数	432件	791件
	目利き能力行内認定試験合格者数	40名	39名
地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	ビジネスマッチング成約件数	280件	804件

\* 目標・実績は平成22年4月～平成24年3月までの2年間の累計です。

\* 尚、「地域密着型金融の推進に向けた取組み状況について（平成22年4月～平成24年3月）」及び「地域密着型金融の推進に向けた取組み（平成24年4月～平成27年3月）」については、当行のホームページに掲載しております。

以上

お問合せ先	総合企画部 川瀬・太田	0598-25-0363
-------	-------------	--------------

キラリと光るあなたの銀行



# 地域密着型金融の推進に向けた取組み状況について

【平成22年4月～平成24年3月】

平成24年8月

キラリと光るあなたの銀行



URL : <http://www.daisanbank.co.jp>

## I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化①

### 具体的な取組事項(平成22年4月～平成24年3月)の抜粋

#### ★創業・新事業支援・・・創業・新事業開拓支援件数31件

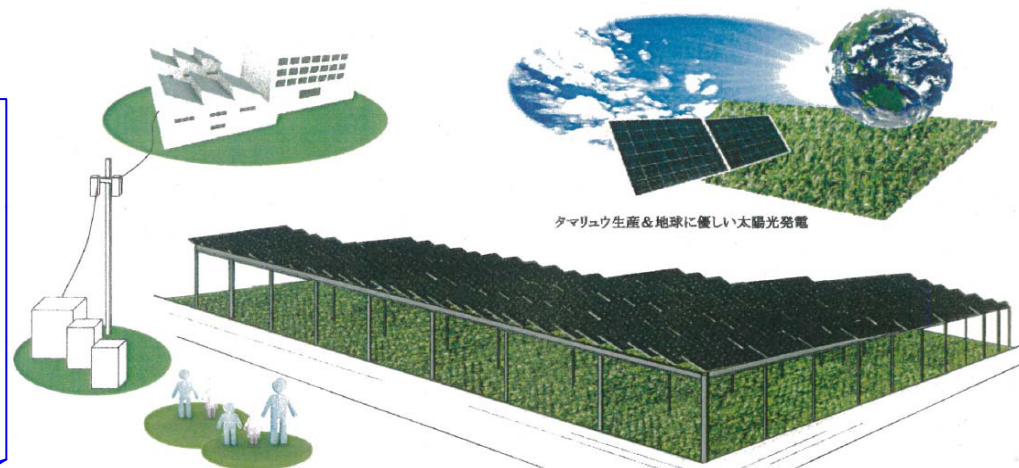
- ◇三重大学との産学連携に関する包括協定に基づき、三重大学において「農水商工連携を前提とした新製品マーケティング研究会」を定期的  
に開催し、新事業の開拓を支援しました。
- ◇中部経済産業局主催の「三重県南部ブランドプロモーション事業」の研  
究会メンバーとして参画しました。
- ◇三重県信用保証協会の創業関連融資制度の申込(相談時)における  
専任相談者を設置し、創業・新事業支援体制を整備・強化しました。



農水商工連携を前提とした新製品マーケティング研究会の風景(新商品の試食)

### 園芸植物生産用地を活用した太陽光発電に対する新事業開拓支援例

- ◇中部経済産業局「中小企業支援ネットワーク強化事業」のアドバイザーを派遣し事業化の検証や「経営革新計画の作成支援を行うとともに、事業資金については、三重県信用保証協会創業・企業支援課創業グループとの協調により支援を行いました。
- タマリユ生産農地の上にソーラーパネルを設置し「再生可能エネルギーの固定買取制度」を活用して売電します。



緑化太陽光発電施設イメージ図

## I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化②

### 具体的な取組事項(平成22年4月～平成24年3月)の抜粋

#### ★経営改善取組支援・・・経営相談支援件数84件

- ◇「Scrum3(スクラム3)2nd」の名称で、本部の企業支援部が中心となり、営業店と協力しながら、お取引先の経営課題・問題点の洗い出し、解決策の検討・提案等のソリューションの実施、当行の情報機能やネットワークの活用等による事業改善や経営改善計画の策定等を支援しました
- ◇政府系金融機関による融資制度や信用保証の特例、課税の特例等の支援を受けることができる経営革新の利用を積極的に提案、経営革新計画の策定を支援しました。

#### ★事業再生支援・・・早期事業再生支援件数14件

- ◇企業支援部による事業再生先に対する事業再生計画策定支援を行ったほか、事業再生の可能性のある取引先について、外部機関である中小企業再生支援協議会と連携し、事業再生に向けた取組みを支援しました。

#### ★事業承継支援・・・事業承継支援件数10件

- ◇事業承継に対する支援強化を図るため、提携M&A専門会社によるM&Aセミナーを平成22年度に6回、平成23年度に7回開催したほか、事業承継個別相談会を開催し、取引先の事業承継ニーズに対応しました。

#### 【M&A、事業承継の取組事例】

- ◇事業譲渡ニーズのある取引先に対して当行の提携先コンサルタント企業を紹介し、M&Aアドバイザー契約を締結したうえで事業譲受先を紹介し、事業譲渡契約(M&A)が成立しました。
- ◇事業承継ニーズのある取引先に対して自社株評価の実施を提案するなどして、事業承継の課題を専門家と共同して問題解決を支援しました。

## Ⅱ. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の活用①

### 具体的な取組事項(平成22年4月～平成24年3月)の抜粋

#### ★中小規模事業者等に適した資金供給の取組み

◇平成23年3月、農業分野向け融資の取組み強化の一環として、全国肉牛事業共同組合(JCIC)と業務提携し、肉用牛を担保にした在庫担保融資(ABL)の取扱いを開始しました。

◇平成23年10月、地域の中小企業のお客様への支援強化の取組みとして、ファンド総額100億円の「中小企業ががんばろうファンド」の取扱いを開始しました。

◇平成23年11月、環境配慮型経営を実施する企業を金融面で支援するため、「さんぎん環境配慮型コベナンツ付き融資」(合計2件、580百万円)を取組みました。

\* 融資契約書に環境認証(ISO認証など)の登録を更新する旨のコベナンツ(確約条項)を設定します。

#### 【ABLの取組事例】

◇平成23年6月、肉牛を肥育している生産農家(企業)に、ブランド牛である「松阪牛」を担保にABLの取組みをしました。

\* 「松阪牛」とは、全国から優秀な血統の子牛(生後7ヶ月ほど)を導入し、松阪牛個体識別管理システムの対象地域で概ね2年間飼育された未經産の黒牛和種の雌牛のこと。

#### 【在庫担保融資(ABL)の一例】



養殖はまち



ヒノキ・スギの原木



松阪牛

## Ⅱ. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の活用②

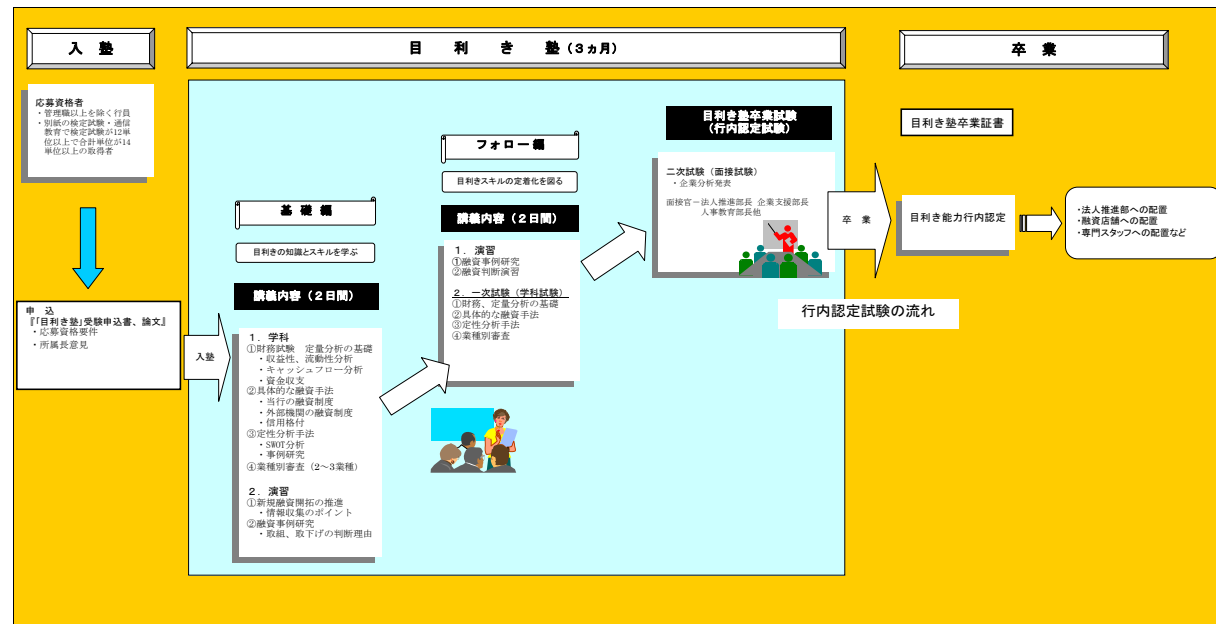
### 具体的な取組事項(平成22年4月～平成24年3月)の抜粋

#### ★目利き能力の向上に向けた取組み

◇事業を見る目を養い、平成17年11月に開塾した「目利き塾」の行内認定試験に39名(平成22年度27名、平成23年度12名)が合格。開塾以来累計で294名の卒業生を輩出し、担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組みを推進しました。

◇目利き能力、コンサルティング能力の強化を図るため、外部講師による「事業先開拓基礎講座」(平成22年7月)、「事業所開拓研修」(平成24年2月)及びホリデースクール「不動産情報活用セミナー」(平成23年10月)、「中国ビジネス最前線」(平成23年10月)等を実施しました。

#### 「目利き塾」概要



ホリデースクールの研修風景

### Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献①

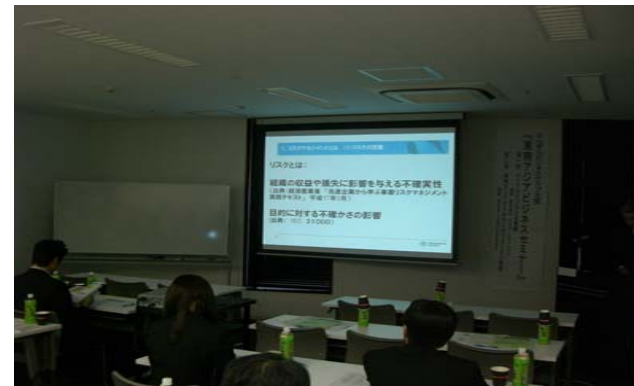
#### 具体的な取組事項(平成22年4月～平成24年3月)の抜粋

##### ★コンサルティング業務やビジネスマッチング業務の取組み

- ◇地域経済の活性化を図るため、当行の広域店舗網を活かし、平成23年度は、ものづくりをテーマとした「ビジネスサミット2011」合同商談会、「リーディング産業展みえ2011」出展、「ふれあいミーティング」等を積極的に活用し、ビジネスマッチング業務を通じた販路拡大等を支援しました。
- ◇お取引先のニーズを踏まえ、提携した民間コンサルティング会社を活用した相談支援を行ったほか、M&Aセミナーを開催するなどお取引先のニーズに対して積極的にサポートを行いました。
- ◇お取引先の海外ビジネス関連のニーズに対して当行の中国ビジネスサポート室がコンサルティング会社と連携し、個別に相談会を開催したほか、SBC(さんぎんビジネスクラブ)主催の「東南アジアビジネスセミナー」(平成23年12月)、「ベトナムビジネスセミナー」(平成24年3月)を開催しました。
- ◇三重大学との産学連携を通じ、地域資源の活用方法について取引先と研究会を開催しました。



ふれあいミーティング2011鳥羽会場



東南アジアビジネスセミナーの開催風景

### Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献②

#### 具体的な取組事項(平成22年4月～平成24年3月)の抜粋

##### ★地域貢献への取組み

◇地域社会への貢献策の一つとして取扱いした「熊野古道定期」のお預入れ残高に応じた寄付金を三重県に寄贈しました。  
(平成22年8月、平成23年8月)

◇三重県が平成19年度から本格的な取組みを始めた「キッズISO 14000プログラム事業」に賛同し、東海地区の金融機関として唯一、平成19年度より毎年地域の小学校児童に対して同プログラムの取組みを継続実施しています。  
平成23年度は、松阪市立朝見小学校5、6年生に対して取組みを実施しました。

◇学生の就業意識の醸成を支援するため、大学生を対象としたインターンシップを実施しました。  
(平成22年8月・・・(大学生8名参加)  
(平成23年8月・・・(大学生4名参加)



「熊野古道定期預金」寄付金贈呈式



当行ISO事務局担当のインストラクターによる講義



インターンシップの風景



### Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献③

#### 具体的な取組事項(平成22年4月～平成24年3月)の抜粋

##### ★地域貢献への取組み

- ◇農業に従事するお客様の事業ニーズを支援するため、平成22年5月に「農業経営サポートローン」の取扱いを開始しました。(累計実績、3件18百万円)
- ◇当行の職員1名が日本政策金融公庫農林水産事業の実施する「農業経営アドバイザー」試験に合格し、農業経営者に対する良き相談相手としての支援体制の充実を図りました。
- ◇地域社会で活躍するNPO法人の活動を支援することを目的にした「NPO法人専用ローン」を1件取組みしました。(平成24年2月)

- ◇社会貢献活動、環境貢献活動の一環として、松阪市森林公園の隣接地で三重県が行う企業の森「針葉樹の森 元気回復」プランへ参加し「さんぎんの森」づくりを実施しました。(平成23年10月)

##### 【針葉樹の森 元気回復】プランの概要

- ◇杉、ひのき林、約5haの間伐・管理等を森林組合に委託することにより、CO2吸収効果、自然災害の予防、水資源の保全効果等に寄与できます。
- ◇この間伐・管理等を委託する場所の名称を「さんぎんの森」としています。
- ◇今後は、年1回の間伐体験を実施します。(平成23年11月、間伐体験実施)



間伐体験の様子

- ◇地域社会への貢献と地域社会への還元に向けた取組みを推進するため、地域企業への投資を組み込んだご当地投信である三重県応援ファンドの販売を通じて地元経済への貢献に努めるとともに、三重県の社会福祉向上のために、信託報酬の一部で福祉車両(累計22台)を購入し寄贈しました。(平成22年10月、平成23年10月)



「三重県応援ファンド」寄付目録贈呈式 7

## 数値目標に対する実績

### 数値目標

項目	指標	目標 (24年3月)	実績 (24年3月)
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	経営改善支援等取組件数	124件	139件
事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の活用	担保・保証に過度に依存しない融資促進件数	432件	791件
	目利き能力行内認定試験合格者数	40名	39名
地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	ビジネスマッチング成約件数	280件	804件

\* 目標及び実績は、平成22年4月～平成24年3月までの累計です。

\* 経営改善支援等取組件数とは、①創業・新事業開拓支援先、②経営相談支援先、③早期事業再生支援先、④事業承継支援先、の4項目への取組先の合計件数です。

\* 担保・保証に過度に依存しない融資促進件数とは、①シンジケートローン、コミットメントライン、財務制限条項(コベナンツ)を活用した融資商品で融資の提案を行った先、②財務諸表精度が高い中小企業者への融資先として、私募債等、信用格付を利用した信用供与の提案を行った先、③ABL(Asset Based Lending)手法の活用等、動産・債権担保融資を行った先、④診療報酬、オートローン債権等、債権流動化の提案を行った先、⑤PFIまたは地域開発プロジェクトの組成に向け、当行が地方公共団体または民間事業者に対して提案・アドバイス(研修会開催を含む)を行った先、⑥スコアリングモデル等を活かした無担保、第三者保証人不要のビジネスローンで融資商品の取組みを行った先(保証付ローンを含む)、の6項目への融資促進先の合計件数です。